

## 第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム

### ■開会の辞

1 日目 (2 月 22 日) 9:00 ~ 9:10

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

挨拶 高階謙一郎 (京都第一赤十字病院院長特任補佐 救命救急センター・基幹災害医療センター長)  
池田 栄人 (京都第一赤十字病院 院長)  
松井 道宣 (京都府医師会 会長)  
西脇 隆俊 (京都府知事)  
自見はなこ (参議院議員)

### ■会長講演

1 日目 (2 月 22 日) 9:10 ~ 9:40

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

座長 北川 喜己 (名古屋掖済会病院 院長)

会長講演 叡智の結集 すべては被災者のために

京都第一赤十字病院院長特任補佐 救命救急センター・基幹災害医療センター長 高階謙一郎

### ■特別講演 1

1 日目 (2 月 22 日) 9:50 ~ 10:50

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

文化講演～妙心寺退蔵院～

座長 池田 栄人 (京都第一赤十字病院院長)

SL1 災害と日本人の死生観

妙心寺退蔵院 副住職 松山 大耕

### ■特別講演 2

2 日目 (2 月 23 日) 14:20 ~ 15:20

第 6 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 A)

赤十字の歴史

座長 稲田 眞治 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院)

SL2 関東大震災 100 年「温故備震」～日本赤十字社の記録から辿る災害救護の原点～

日本赤十字社広報室 赤十字情報プラザ 参事 大西 智子

### ■特別講演 3

3 日目 (2 月 24 日) 10:10 ~ 11:10

第 6 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 A)

座長 田中 博之 (京都医療センター救命救急科)

SL3 祇園祭の歴史について

京都文化博物館 学芸課 橋本 章

## ■特別企画 1

1 日目 (2月22日) 17:50 ~ 18:50

第2会場 (みやこめっせ1階 第2展示場D)

「耐震で大丈夫ですか？」防災学術連携体 共同企画

座長 大友 康裕 (国立病院機構 災害医療センター 病院長 防災学術連携体 幹事)  
米田 雅子 (東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授 / (一社) 防災学術連携体 代表幹事)

SS1-1 大地震時後でも続けて使える免震病院の建設促進

一般社団法人防災学術連携体 代表理事 和田 章

SS1-2 災害復旧時の物流維持に資する交通インフラの免震化

京都大学 工学研究科 社会基盤工学専攻 高橋 良和

SS1-3 東日本大震災時の東北厚生年金病院の状況

東北医科薬科大学 医学部 救急・災害医療学教室 佐藤 大

## ■特別企画 2

1 日目 (2月22日) 17:20 ~ 18:20

第4会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

DWAT セッション

座長 千島佳也子 (国立病院機構 本部厚生労働省 DMAT 事務局)

SS2-1 災害時の福祉施設支援

国立病院機構 本部厚生労働省 DMAT 事務局 千島佳也子

SS2-2 災害における福祉の支援〜ぐんま DWAT の取り組み〜

公益社団法人群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院 地域連携室 小川 晋平

## ■特別企画 3

1 日目 (2月22日) 11:00 ~ 12:00

第7会場 (みやこめっせ B1階 第1展示場B)

サイバーセキュリティと災害

座長 藤見 聡 (大阪府急性期総合医療センター)

SS3 災害級のサイバー事案に備えたりスクマネジメント〜ランサムウェアから電磁波セキュリティまで〜

警察庁 サイバー警察局 サイバー企画課 丸林 夏彦

## ■特別企画 4

2 日目 (2月23日) 9:00 ~ 10:00

第1会場 (みやこめっせ3階 第3展示場A)

代表理事の叡智

座長 本間 正人 (鳥取大学医学部救急災害医学分野)

SS4-1 代表理事の叡智

東洋医療専門学校 学校長 太田 宗夫

SS4-2 レジェンドを引き継いでの大役

国立病院機構本部 DMAT 事務局 小井土雄一

SS4-3 代表理事として取り組んだこと

国立病院機構災害医療センター 救命救急センター 大友 康裕

SS4-4 現 代表理事が目指す学会活動

鳥取大学 医学部 救急・災害医学分野 本間 正人

## ■特別企画 5

2 日目 (2 月 23 日) 10:10 ~ 11:40

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

災害 2023 (秋田豪雨災害)

座長 松田 宏樹 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)  
山内 聡 (仙台市立病院 救命救急センター長)

SS5-1 7 月大雨災害における秋田県保健医療福祉調整本部の対応と今後の課題について

秋田県 健康福祉部 医務薬事課 高橋 一陽

SS5-2 令和 5 年 7 月豪雨災害 秋田市消防本部の対応

秋田市消防本部 救急課 高橋 伸一

SS5-3 2023 年 7 月秋田市水害での DMAT 活動

秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 奥山 学

SS5-4 秋田大学医学部附属病院看護部の対応

秋田大学医学部附属病院 看護部 小松千賀子

SS5-5 被災病院の立場からみた秋田豪雨災害 ~病院避難が切迫した中通総合病院で起きていたこと~

中通総合病院 地域医療連携部 医療福祉相談室 塩谷 行浩

## ■特別企画 6

2 日目 (2 月 23 日) 13:50 ~ 14:20

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

日本医師会会長講演

座長 松井 道宣 (京都府医師会 会長)

SS6 叡智の結集~次なる災害・新興感染症対応に向けて

公益社団法人 日本医師会 会長 松本 吉郎

## ■特別企画 7

2 日目 (2 月 23 日) 14:20 ~ 16:20

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

WHO・日本災害医学会合同セッション

WKC フォーラム：災害医療研究の発展のために～グローバルな研究協立メカニズムの構築と研究手法の確立に向けた国内外の取り組み～

座長 江川 新一 (東北大学)  
越智 小枝 (東京慈恵会医科大学)  
指定発言 青野 美香 (JICA Phase2 ARCH Project)  
大友 康裕 (国立病院機構災害医療センター)  
小井土雄一 (厚生労働省 DMAT 事務局)

- SS7-1 WHO 健康開発総合研究センター 茅野 龍馬
- SS7-2 京都第一赤十字病院院長特任補佐 救命救急センター・基幹災害医療センター長 高階謙一郎
- SS7-3 広島大学 久保 達彦
- SS7-4 ASEAN Institute for Disaster Health Medicine Bella Donna
- SS7-5 日本赤十字社国際部 佐藤 展章
- SS7-6 慶應義塾大学 野村 周平
- SS7-7 兵庫県立大学 増野 園恵
- SS7-8 鳥取大学 本間 正人

## ■特別企画 8

2 日目 (2 月 23 日) 16:30 ~ 18:00

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

WADEM (世界災害救急医学会) 2025 in Tokyo の展望

座長 大友 康裕 (国立病院機構災害医療センター病院長)

- SS8-1 WADEM2025 が東京にやってくる!  
岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究科/岡山大学 医学部保健学科看護学専攻基礎看護学分野 原田奈穂子
- SS8-2 WADEM 2025 Tokyo のトピックとプログラム  
東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学 江川 新一
- SS8-3 Disaster Medicine and WADEM: Yesterday, Today, and Tomorrow  
Harvard Medical School / Harvard Chan School of Public Health Gregory R. Ciottonne
- SS8-4 Future prospects for WADEM 2025 in Tokyo: WADEM's Current Status, Future Direction, and Expectations for WADEM 2025  
World Association for Disaster and Emergency Medicine / Harvard Medical Faculty Physicians at BIDMC / Society for Disaster Medicine and Public Health / American Academy of Disaster Medicine Donald A. Donahue

## ■特別企画 9

2 日目 (2 月 23 日) 14:20 ~ 15:50

第 2 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 D)

### G7 広島サミット

座長 赤星 昂己 (厚生労働省医政局地域医療計画課 災害等緊急時医療・周産期医療等対策室)  
溝端 康光 (大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学)

#### SS9-1 2023G7 広島サミットの開催概要

大阪公立大学大学院 医学研究科 救急医学 溝端 康光

#### SS9-2 救急・災害医療体制確保事業

大阪大学 医学部附属病院 高度救命救急センター 酒井 智彦

#### SS9-3 G7 広島サミットにおける本部運営と人材確保

国立病院機構本部 DMAT 事務局 松田 宏樹

#### SS9-4 G7 広島サミット現地医療対策本部における情報管理システムの構築と運用報告

大阪府立中河内救命救急センター 臨床工学室 西島 章

#### SS9-5 G7 広島サミットにおける J-SPEED 運用

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 田治 明宏

#### SS9-6 開催地広島の医療課題と持続可能な協体制構築

広島大学大学院 救急集中治療医学 大下慎一郎

#### SS9-7 他機関連携の課題と提言

広島市消防局 警防部救急課 三島 智隆

## ■特別企画 10

2 日目 (2 月 23 日) 16:00 ~ 17:30

第 2 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 D)

### コロナ総括 1：新型コロナウイルス感染症災害の本質と今後の対策

座長 近藤 久禎 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)  
杉原 淳 (厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課)  
特別発言 阿南 英明 (神奈川県理事・医療危機対策統括官)

#### SS10-1 新型コロナウイルス感染症災害の本質

国立病院機構本部 DMAT 事務局 近藤 久禎

#### SS10-2 特定感染症指定医療機関としての新型コロナウイルス感染症 COVID-19 対策における役割

りんくう総合医療センター 感染症センター／りんくう総合医療センター 院内感染対策室／  
りんくう総合医療センター 総合内科・感染症内科 倭 正也

#### SS10-3 新型コロナ対応を教訓として

長崎県 県央保健所 藤田 利枝

#### SS10-4 DMAT の支援を受けて

北海道静内保健所 健康推進課 釜本 昌直

SS10-5 新型コロナウイルス感染症流行下において認知症の人や家族の受けた影響

広島大学 大学院医系科学研究科 石井 伸弥

■特別企画 11

3 日目 (2月24日) 10:00 ~ 11:10

第1会場 (みやこめっせ3階 第3展示場A)

「南海トラフ地震」~つなぐ議論のバトン~2ndメッセージ“南海トラフ地震における支援県の役割について”

座長 中田 敬司 (神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科)

SS11-1 南海トラフ地震における支援県の役割について  
~東日本大震災の被災県から~

岩手医科大学 救急・災害医学講座 眞瀬 智彦

SS11-2 ジレンマ 応援か受入か

京都第一赤十字病院 救命救急センター 高階謙一郎

SS11-3 南海トラフ地震において受援県の病院に求められるもの

名古屋掖済会病院 院長 北川 喜己

■特別企画 12

3 日目 (2月24日) 12:40 ~ 14:10

第1会場 (みやこめっせ3階 第3展示場A)

我が国の健康危機管理センター創設に向けて~オールハザード叡知の結集への挑戦

座長 久保 達彦 (広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 教授)  
小井土雄一 (国立病院機構 DMAT 事務局 事務局長)

SS12-1 健康危機管理センター創設に向けて

広島大学 医系科学研究科公衆衛生学 城間 紀之

SS12-2 保健医療福祉調整本部との連携に向けて

浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之

SS12-3 健康危機管理センターのあり方について

国立病院機構本部 DMAT 事務局 近藤 久禎

SS12-4 感染症危機管理研究センターの参画に向けて

国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター 齋藤 智也

SS12-5 災害産業保健センターの参画に向けて

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 立石清一郎

SS12-6 健康危機管理センターの創設に向けて~国立保健医療科学院に期待される役割

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 富尾 淳

## ■特別企画 13

3 日目 (2月24日) 14:20 ~ 15:50

### 第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

#### コロナ総括 2 : 新型コロナ災害のレガシー

座長 阿南 英明 (神奈川県健康医療局 理事 / 藤沢市民病院 副院長)  
近藤 久禎 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

#### SS13-1 愛知県における新型コロナ災害のレガシー

名古屋掖済会病院 院長 北川 喜己

#### SS13-2 沖縄県の新型コロナウイルス感染症のレガシー ... 何を残せるか? 医療コーディネーターの立場から

沖縄赤十字病院 救急集中治療部 佐々木秀章

#### SS13-3 Covid-19 パンデミックを経験し、札幌市は何を作り何を残すのか?

札幌市保健所 医療政策課 中西 香織

#### SS13-4 新興感染症パンデミック時における救急医療統括コーディネーターの配置

済生会宇都宮病院 栃木県救命救急センター / 栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部 小倉 崇以

#### SS13-5 コロナ禍での KISA2 隊の成り立ちと活動記録、そして現在から未来への展開

KISA2 隊 / 葛西医院 KISA2 隊大阪 隊長 小林 正宜

## ■特別企画 14

3 日目 (2月24日) 9:40 ~ 11:10

### 第 2 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 D)

#### 20 年後の災害

座長 鷲坂 彰吾 (日本プライマリ・ケア連合学会 災害医療システム委員会 /  
日本赤十字社医療センター 救命救急センター・国内医療救護部)  
本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

#### SS14-1

奈良先端技術大学院大学 辻井 高浩

#### SS14-2

株式会社 NTT ドコモ R&D イノベーション本部 6G ネットワークイノベーション部  
ソリューション技術担当 担当部長 森広 芳文

#### SS14-3

東京大学 鈴木 真二

## ■特別企画 15

3 日目 (2月24日) 12:40 ~ 14:00

### 第 2 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 D)

#### 日本赤十字看護大学附属災害救護研究所の活動

座長 井村 真澄 (日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 副所長・日本赤十字看護大学大学院国際保健助産学 特任教授)  
丸山 嘉一 (日本赤十字看護大学附属災害救護研究所)

#### SS15-1 災害医療の脱炭素化に向けて -Green Response-

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 国際医療救護部門 中出 雅治

#### SS15-2 国際救援を通じた救援技術の創出

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害救援技術部門 / 熊本赤十字病院 国際医療救護部 曾篠 恭裕

## SS15-3 国際赤十字との連携によるPFAの普及

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 心理社会的支援部門 森光 玲雄

### ■特別企画 16

3日目(2月24日) 14:10～15:10

第2会場(みやこめっせ1階第2展示場D)

#### ISUTの取組と災害医療

座長 近藤 祐史(防衛省人事教育局衛生官付衛生企画室防衛部員)  
中田 正明(兵庫県災害医療センター 放射線課長)

SS16-1 ISUT(災害時情報集約支援チーム)の概要と次期総合防災情報システムについて

内閣府 政策統括官(防災担当) 付  
参事官(防災デジタル・物資支援担当) 付 塚 偉

SS16-2 ISUTの取組とSIP4D

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター 白田裕一郎

SS16-3 D24H-Disaster/Digital information system for well-being-災害時保健医療福祉活動支援システム

芝浦工業大学 システム理工学部 市川 学

SS16-4 新しいEMIS構築に向けた取り組み

厚生労働省 医政局 地域医療計画課 赤星 昂己

### ■市民公開講座

3日目(2月24日) 16:30～18:00

第6会場(みやこめっせB1階第1展示場A)

共催:災害時のトリアージに関する合同委員会/日本医師会/日本災害医学会/日本救急医学会/日本臨床救急医学会  
災害時のトリアージを理解しよう

座長 大友 康裕(日本救急医学会代表理事、合同委員会委員長)  
黒瀬 巖(日本医師会常任理事)

市民公開講座-1 トリアージとは何か

神奈川県理事・医療危機対策統括官 阿南 英明

市民公開講座-2 トリアージをやってみよう; 寸劇と解説

横浜労災病院救命救急センター長 中森 知毅  
災害人道医療支援会(HuMA)常任理事 夏川 知輝

市民公開講座-3 トリアージ;医療者はこう思っている

日本災害医学会理事、国際医療福祉大学教授 石井美恵子

市民公開講座-4 トリアージの諸課題

日本臨床救急医学会理事、帝京大学教授 森村 尚登

市民公開講座-5 国民へ向けての声明文

日本救急医学会代表理事、合同委員会委員長 大友 康裕

市民公開講座-6 国会議員からのコメント

衆議院議員、防衛大臣政務官 松本 尚



■教育講演 1

1 日目 (2月22日) 11:00 ~ 12:00

第5会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②)

災害時における避難所の感染対策で知っておくべきこと

座長 大鶴 繁 (京都大学大学院初期診療・救急医学分野)

EL1 災害時の避難所における感染症対策 ~ DICT とは? ~

長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野 泉川 公一

■教育講演 2

1 日目 (2月22日) 17:30 ~ 18:30

第5会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②)

事態対処医療

座長 大西 光雄 (国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター 診療部長)

EL2 テロ等の不測の事態で展開される事態対処医療

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 布施 明

■教育講演 3

2 日目 (2月23日) 17:00 ~ 18:00

第6会場 (みやこめっせ B1階 第1展示場 A)

災害法律

座長 田口 茂正 (さいたま赤十字病院 高度救命救急センター長 院長補佐 第一救急部長 集中治療部長)

EL3 日本の災害法制度

川崎市立看護大学 学長 坂元 昇

■教育講演 4

2 日目 (2月23日) 9:20 ~ 10:20

第8会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 A)

座長 高橋 昌 (新潟大学大学院)

EL4 共通講習 (医療倫理 / 倫理委員会)

京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態感染制御・検査医学講座 教授 貫井 陽子

■教育講演 5

2 日目 (2月23日) 10:40 ~ 11:40

第8会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 A)

災害医の医療職の健康影響

座長 寺谷 俊康 (厚生労働省医系技官 (食品安全委員会事務局出向))

EL5 災害時における医療職・レスポnderの健康影響

産業医科大学 災害産業保健センター 立石清一郎

■教育講演（共通講習）6

2日目（2月23日）14:20～15:20

第8会場（みやこめっせ B1階 特別展示場 A）

災害時における人権について

座長 石原 論（兵庫県災害医療センター センター長）

EL6 「よきサマリア人法」の法制化を考える ～南海トラフ地震に向けて～

浜松医科大学 医学部 総合人間科学講座法学教室 大磯義一郎

■教育講演7

2日目（2月23日）15:20～16:20

第8会場（みやこめっせ B1階 特別展示場 A）

世界の宗教と死生観

座長 高橋 昌（新潟大学大学院 災害医学・医療人育成分野 特任教授）

EL7 世界の宗教と死生観

大学院大学至善館 イノベーション経営学術院 橋爪大三郎

■教育講演8

3日目（2月24日）10:10～11:10

第5会場（みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②）

編集委員会企画

座長 橋本真由美（福島県立医科大学 大学院 医学研究科 災害・被ばく医療科学共同専攻 災害危機管理看護学講座 教授）

EL8 査読者からみる災害医学領域における論文作成

東京都立大学 健康福祉学部 石川 秀樹

■教育講演（共通講習）9

3日目（2月24日）12:40～13:40

第6会場（みやこめっせ B1階 第1展示場 A）

人材育成

座長 眞瀬 智彦（岩手医科大学 救急・災害医学講座）

EL9 健康危機管理の実践・研究開発・人材育成：災害医学と社会医学の協働

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野／社会医学系専門医協会 今中 雄一

■教育講演（共通講習）10

3日目（2月24日）14:20～15:20

第7会場（みやこめっせ B1階 第1展示場 B）

医療安全

座長 清水 義博（社会医療法人岡本病院（財団）京都岡本記念病院）

EL10 患者安全における心理的安全性：よりよいチームパフォーマンスの必要条件

京都大学 医学部附属病院 松村 由美

## ■シンポジウム 1

1 日目 (2月22日) 16:30 ~ 18:30

### 第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

#### 叡智の結集：災害関連学会

座長 大友 康裕 (救急医学会 理事長)

本間 正人 (鳥取大学医学部救急災害医学)

#### SY1-1 日本集中治療学会

広島大学大学院 救急集中治療医学 大下慎一郎

#### SY1-2 日本循環器学会の災害対応～能登半島地震を踏まえて～

金沢大学 医学系 循環器内科 高村 雅之

#### SY1-3 日本産科婦人科学会

国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 婦人科 西ヶ谷順子

#### SY1-4 日本における災害精神医学の軌跡

公益社団法人 日本精神神経学会 災害支援委員会/目白大学 保健医療学部/  
Uniformed Services University School of Medicine, Department of Psychiatry 重村 淳

#### SY1-5 小児・新生児に対する災害医療対策と「災害時小児周産期リエゾン」の役割

聖マリアンナ医科大学 小児科学講座/日本小児科学会 災害対策委員会 清水 直樹

#### SY1-6 日本糖尿病学会および日本糖尿病協会：災害時における糖尿病患者支援チーム (DiaMAT)

佐賀大学 医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西 慶三

#### SY1-7 災害時における歯科法医学の役割

神奈川歯科大学 歯学部 法医学講座 歯科法医学分野 山田 良広

## ■シンポジウム 2

1 日目 (2月22日) 11:00 ~ 12:20

### 第 4 会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

#### 叡智の結集：自助・共助を進めるために

座長 恩部 陽弥 (鳥取大学医学部附属病院)

松本 良二 (植草学園大学 (客員教授)/成田リハビリテーション病院)

#### SY2-1 国際 NGO による日本の自助・共助の強化に向けた取り組み

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 町田 友里

#### SY2-2 大学病院が中心となって行う「自助・共助」を促進するための試み

長崎大学病院 災害医療支援室 宮田 佳之

#### SY2-3 在宅医療からみた自助・共助の現状と課題

株式会社マチナス マチナス訪問看護ステーション 西村 聖子

#### SY2-4 地域包括ケアと災害保健医療福祉対策の連動：「行政の仕掛け」による住民主体の災害に強い地域づくりへ

前千葉県保健所長/植草学園大学 客員教授/成田リハビリテーション病院 病棟専従医 松本 良二

## SY2-5 BHELP 標準コースの構想について

国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 災害医療分野 石井美恵子

### ■シンポジウム 3

1 日目 (2月22日) 15:40 ~ 17:10

第5会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②)

災害時の「食べる」支援の連携の必要性和方向性 (災害時「食べる」連携委員会)

座長 植田 信策 (石巻赤十字病院、災害医療研修センター 副院長)  
服部希世子 (熊本県人吉保健所)

SY3-1 災害時の栄養問題とその支援の必要性

愛知医科大学 栄養治療支援センター 前田 圭介

SY3-2 歯科から見た災害時要配慮者に対する「食べる」支援の連携の必要性

東京医科歯科大学 大学院 歯科学総合研究科 救急災害医学分野 中久木康一

SY3-3 避難者も支援者も食事も栄養!

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国際災害栄養研究室 坪山 (笠岡) 宣代

SY3-4 災害時の食べるに関わるリハビリテーション

東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 原田 浩美

### ■シンポジウム 4

1 日目 (2月22日) 17:20 ~ 18:50

第6会場 (みやこめっせ B1階 第1展示場 A)

叡智の結集: 保健医療福祉調整本部

座長 坂元 昇 (川崎市立看護大学 学長)  
田口 茂正 (さいたま赤十字病院 高度救命救急センター長)

SY4-1 防災基本計画の改定と地域防災計画改定

川崎市立看護大学 学長 坂元 昇

SY4-2 熊本県における多職種と連携した災害時保健医療福祉活動

熊本県人吉保健所 総務福祉課 服部希世子

SY4-3 災害訓練を通じて見えてきた保健所の役割

兵庫県丹波県民局 丹波健康福祉事務所 小平 博

SY4-4 災害福祉支援からみた、保健/医療活動との協働

華頂短期大学 幼児教育学科長・教授 武田 康晴

SY4-5 兵庫県の保健・医療・福祉は災害時にどのように連携調整するか?

兵庫県災害医療センター 兵庫県災害救急医療情報指令センター 川瀬 鉄典

SY4-6 保健医療福祉調整本部に関する全国調査

浜松医科大学 健康社会学講座 尾島 俊之

## ■シンポジウム 5

1 日目 (2月22日) 10:30 ~ 12:30

第9会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 B)

### 災害時のトラウマティックストレスとその対応

座長 高橋 晶 (筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 准教授, 茨城県立こころの医療センター 地域・災害支援部長・室長)  
村上 典子 (神戸赤十字病院心療内科部長)

#### SY5-1 災害で傷つくということ：災害救援者・支援者のメンタルヘルス研究最前線

目白大学 保健医療学部 / Uniformed Services University School of Medicine, Department of Psychiatry 重村 淳

#### SY5-2 災害時における急性期から中長期にかけての心療内科の関わり

神戸赤十字病院 心療内科 村上 典子

#### SY5-3 国連システムにおける人道危機時の精神保健・障害対応

東京大学 大学院農学生命科学研究科 井筒 節

#### SY5-4 救援者のトラウマティック・ストレスに対するケア

国立精神・神経医療研究センター 認知処理療法センター 片柳 章子

#### SY5-5 指定発言 (災害時のトラウマティックストレスとその対応)

筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター 精神科 / 筑波メディカルセンター病院 精神科 高橋 晶

## ■シンポジウム 6

1 日目 (2月22日) 14:00 ~ 16:00

第9会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 B)

### 救援者・支援者のメンタルヘルスサポート

座長 河嵩 譲 (DPAT 事務局 次長 / 国立病院機構本部 DMAT 事務局 非常勤医師)  
小井土雄一 (国立病院機構 DMAT 事務局 事務局長)

#### SY6-1 災害支援者支援概論

筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター 地域・災害支援部 / 筑波メディカルセンター病院 精神科 高橋 晶

#### SY6-2 救援者 (DMAT、DPAT 隊員) のメンタルヘルスサポートシステム構築への提言

東京大学 医学系研究科 / 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 西 大輔

#### SY6-3 日赤のこころのケアにおける支援者支援

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 情報企画連携室 丸山 嘉一

#### SY6-4 産業精神保健の立場から 事故や災害時の救援者や支援者の組織に対する支援

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 立石清一郎

#### SY6-5 心理職の立場から 支援者支援—教育、医療、福祉、産業、司法領域—

桜美林大学 リベラルアーツ学群 池田 美樹

## ■シンポジウム 7

1 日目 (2月22日) 16:00 ~ 18:00

第 9 会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 B)

DPAT 設立 10 周年 ~ DPAT 活動の答え合わせ ~

座長 加藤 寛 (兵庫県こころのケアセンター センター長)

五明佐也香 (獨協医科大学埼玉医療センター救急医療科講師 / DPAT 事務局次長)

SY7-1 DPAT の歩みと今後の課題

DPAT 事務局 / 神経科浜松病院 医局 / 藤田医科大学 精神神経科学講座 福生 泰久

SY7-2 熊本地震における DPAT の活動

島根県立こころの医療センター 精神科部長 / 厚生労働省委託事業 DPAT 事務局 参与 高尾 碧

SY7-3 熱海市伊豆山地区土砂災害における DPAT の活動

地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こころの医療センター 精神科 鈴木 健一

SY7-4 新型コロナウイルス感染症における DPAT の活動と DPAT における看護師の役割

国立病院機構 沖繩病院 看護部 奥浜 伸一

SY7-5 DPAT における業務調整員の役割と DPAT 事務局の変遷

医療法人社団貴山会柏駅前なかやまメンタルクリニック 事務局長 吉田 航

## ■シンポジウム 8

2 日目 (2月23日) 8:30 ~ 10:00

第 6 会場 (みやこめっせ B1階 第 1 展示場 A)

叡智の結集 : 国内災害対応チーム

座長 河崙 讓 (DPAT 事務局 次長 / 国立病院機構本部 DMAT 事務局 非常勤医師)

小谷 聡司 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

SY8-1 多数傷病者対応における DMAT とドクターヘリ複数機対応の使い分け

順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科 柳川 洋一

SY8-2 原子力災害医療派遣チームの現状

市立八幡浜総合病院 麻酔科 越智 元郎

SY8-3 実移動を伴う原子力災害医療派遣チーム研修の企画運営と課題

長崎大学病院 災害医療支援室 / 長崎大学 原子力災害対策戦略本部 /  
長崎大学病院 高度救命救急センター 山下 和範

SY8-4 災害人道医療支援会の国内災害対応 : 被災地域の医療体制の早期復興と災害対応能力向上を目指して

特定非営利活動法人 災害人道医療支援会 / 兵庫県災害医療センター 甲斐聡一郎

SY8-5 官民をつなぐ国際 NGO による支援活動

ピースウィンズ・ジャパン 空飛ぶ捜索医療団 "ARROWS" 稲葉 基高

## ■シンポジウム 9

3日目(2月24日) 8:30～10:00

### 第1会場(みやこめっせ3階第3展示場A)

#### 医療コンテナの活用と課題

座長 中田 敬司(神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科)  
山口 順子(日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野)

- SY9-1 医療コンテナ活用における標準化の必要性について  
神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 前林 清和
- SY9-2 医療コンテナの平時の活用事例(スポーツイベント)と課題について  
関西国際大学 経営学部 経営学科 田中 綾子
- SY9-3 医療コンテナを用いた離島での検診実証報告  
長崎大学病院 災害医療支援室/医療コンテナ推進協議会 山下 和範
- SY9-4 参集拠点本部における医療コンテナの活用  
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 小森 健史
- SY9-5 医療コンテナのコロナ禍における海外での活用事例と課題  
一般財団法人 医療コンテナ推進協議会 事務局 徳丸 周志
- SY9-6 震災における Field Hospital - JDR 医療チームトルコ地震派遣からみた医療コンテナの可能性-  
日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科/JICA 国際緊急援助隊 医療チーム/日本医科大学 救急医学 井上 潤一

## ■シンポジウム 10

3日目(2月24日) 8:30～10:00

### 第4会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

#### 叡智の結集:災害研究機関

座長 佐々木宏之(東北大学災害科学国際研究所 准教授)  
牧 紀男(京都大学防災研究所)

- SY10-1 日本赤十字看護大学附属災害救護研究所の活動  
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 情報企画連携室 丸山 嘉一
- SY10-2 新潟大学の取り組み～災害を科学して命と健康を守る  
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 高橋 昌
- SY10-3 国立保健医療科学院における災害医学研究  
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 富尾 淳
- SY10-4 医療施設の地震レジリエンス評価における学際研究  
京都大学 防災研究所 地震防災研究部門/京都大学 社会防災研究部門 倉田 真宏
- SY10-5 災害保健医療研究の発展に向けて:WHO と連携した研究手法の標準化と国際共同研究の推進  
世界保健機関(WHO) 健康開発総合研究センター 茅野 龍馬

SY10-6 EM-DAT データベースを用いた我が国で発生した災害の記述的分析

東京医科歯科大学 病院 救命救急センター／  
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 救急災害医学分野 岩崎 陽平

■シンポジウム 11

3 日目 (2 月 24 日) 12:40 ~ 14:10

第 5 会場 (みやこめっせ B1 階 日図デザイン博物館②)

叡智の結集：国際緊急援助隊の多様な活動

座長 大場 次郎 (順天堂大学 救急災害医学 准教授)  
中森 知毅 (労働者安全機構 横浜労災病院)

SY11-1 トルコ地震から 1 年、改めてわが国初の Field Hospital 展開の意義を考える

日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター／JICA 国際緊急援助隊 医療チーム 井上 潤一

SY11-2 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームのロジスティクス活動

岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座 藤原 弘之

SY11-3 国際緊急援助隊医療チームの人材育成

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 大場 次郎

SY11-4 国際緊急援助隊の平時国際連携活動－ WHO EMT TWG への貢献 (Highly Infectious Disease)

日本赤十字社和歌山医療センター 感染症内科 古宮 伸洋

SY11-5 国際緊急援助隊の平時国際連携活動－ WHO EMT MEDEVAC TWG への貢献

国立病院機構本部 厚生労働省 DMAT 事務局 豊國 義樹

SY11-6 ASEAN ARCH プロジェクトへの貢献 ～災害医療の発展における日本と ASEAN との相互学習と知識共創～

JICA Phase2 ARCH Project 青野 美香

SY11-7 国際緊急援助隊への参加

独立行政法人国際協力機構 (JICA) 国際緊急援助隊事務局 糟谷 良久

■シンポジウム 12

3 日目 (2 月 24 日) 9:40 ~ 11:10

第 7 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 B)

学会主導研究中間報告会 (学会主導研究委員会)

座長 大友 康裕 (国立病院機構災害医療センター)  
越智 小枝 (東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座教授)

SY12-1 災害時のエッセンシャルワーカーに対する育児支援の現状と必要な支援策に関する調査

名古屋市立大学 大学院医学研究科 救命救急医療学 今井 一徳

SY12-2 自然災害における支援者 (救援者) のメンタルヘルスに関するスコーピングレビュー

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 医学学位プログラム 博士課程 伊藤結加里

SY12-3 災害時トリアージにおける専門知の社会への架橋

東京大学 法政治学研究所／国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 島田 裕平



- SY12-4 災害オープンデータの利活用と整備のあり方に関する研究  
浜松医科大学 医学部 健康社会医学講座/千葉大学 予防医学センター 高杉 友
- SY12-5 災害支援者の携行食の実態調査に関する研究  
食べるのいろは 管理栄養士 濱田 真里
- SY12-6 J- SPEED/MDS を活用した EMT 診療件数のリアルタイム予測数値モデルの構築と実装  
広島大学 医学部 医学科/広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 吉田 教人

## ■シンポジウム 13

3 日目 (2 月 24 日) 8:30 ~ 10:00

第 10 会場 (みやこめっせ B1 階 大会議室)

避難所・避難生活学会 1 タイムライン防災—事前減災への行政の取り組み

座長 植田 信策 (石巻赤十字病院 災害医療研修センター)  
根本 昌宏 (日本赤十字北海道看護大学)

- SY13-1 基調講演 タイムライン防災  
東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎
- SY13-2 令和 2 年 7 月豪雨災害の実相について—住民達は如何にして自分達の命を守ったか—  
熊本県球磨村役場 防災管理官 中渡 徹
- SY13-3 令和元年台風 19 号の教訓を生かす。  
足立区が取り組む「コミュニティタイムライン」で区民の命を守る。  
東京都足立区役所 危機管理部長 茂木 聡直
- SY13-4 【活動報告】地域医療と共に発展するタイムライン防災の新たな可能性  
—優しさと強さの両輪で進めるまちづくり戦略—  
紀宝町立相野谷診療所 森本真之助

## ■パネルディスカッション 1

1 日目 (2 月 22 日) 11:00 ~ 12:30

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

叡智の結集：行政機関

座長 近藤 久禎 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)  
近藤 祐史 (防衛省人事教育局衛生官付衛生企画室 防衛部員)

- PD1-1 大規模災害発生時における我が国の本部間連携  
厚生労働省 医政局 地域医療計画課 災害等緊急時医療・周産期医療等対策室 赤星 昂己
- PD1-2 消防機関の災害対応  
総務省消防庁 救急企画室 飯田 龍洋
- PD1-3 大規模災害発生時における我が国の意思決定プロセスと他機関連携について  
本部 DMAT 事務局 新興感染症対策課 小谷 聡司
- PD1-4 行政機関との連携 引き継ぐことの大事さ  
福島県立医科大学附属病院 ふたば救急総合医療支援センター/福島県立医科大学附属病院 災害医療部 島田 二郎

PD1-パネラー

関西広域連合 広域防災局 広域企画課 陰山 暁介

■パネルディスカッション 2

1 日目 (2 月 22 日) 14:00 ~ 15:30

第 1 会場 (みやこめっせ 3 階 第 3 展示場 A)

災害医療ロジスティクスから考える籠城支援と対策

座長 近藤 久禎 (独立行政法人 国立病院機構本部 DMAT 事務局 次長)  
中田 正明 (兵庫県災害医療センター)

PD2-1 災害時における病院籠城対策と支援の現状

国立病院機構本部 DMAT 事務局 鈴木 教久

PD2-2 水害被災と受援経験の立場から

医療法人聖峰会 田主丸中央病院 地域保健センター 古賀 友和

PD2-3 籠城病院への支援 DMAT としての経験と課題

社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科 辻本 朗

PD2-4 建築設計者から見た医療機関の施設面の災害対策

清水建設株式会社 設計本部 鳥山 亜紀

PD2-5 病院施設管理職員によるライフライン支援と事前対策

沖縄県立中部病院 事務部 設備・調達課 施設管理室 宮平 亮

■パネルディスカッション 3

1 日目 (2 月 22 日) 11:00 ~ 12:30

第 2 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 D)

富士山噴火

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)  
小井土雄一 (DMAT 事務局)

PD3-1 新しい富士山火山避難基本計画の概要と今後の取り組み

山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター 石峯 康浩

PD3-2 富士山噴火を想定した DMAT ブロック訓練を終えて見えたもの

山梨県立中央病院 高度救命救急センター/山梨県立中央病院 検査部 岩瀬 史明

PD3-3 富士山噴火における病院避難の課題 ~ DMAT 実動訓練との共同開催で見えたこと ~

富士吉田市立病院 整形外科 近藤 充徳

PD3-4 富士山噴火に伴う大量降灰が医療と支援活動に及ぼすインパクト

神奈川県庁 健康医療局/藤沢市民病院 救急科 阿南 英明

PD3-5 桜島大規模噴火について火山学者と医療従事者が共同で議論する意義

鹿児島大学病院 救命救急センター 佐藤 満仁

## ■パネルディスカッション 4

1 日目 (2月22日) 14:00 ~ 15:30

第2会場 (みやこめっせ1階 第2展示場D)

災害時における適正な医薬品供給体制に向けて  
～災害薬事コーディネーター制度・育成を考える～

座長 山田 卓郎 (日本薬剤師会常務理事)  
渡邊 暁洋 (兵庫医科大学危機管理医学講座)

- PD4-1 災害薬事コーディネーター制度と災害薬事の体制整備について  
厚生労働省 医薬局総務課 亀井健太郎
- PD4-2 薬剤師のための災害対策マニュアル改定と災害薬事コーディネーターの役割  
福岡大学 薬学部 救急・災害医療薬学研究室 江川 孝
- PD4-3 被災地薬剤供給情報と、医療支援チームが持参すべき薬剤・衛生物品について、早期に公開し更新する手段を考える  
社会医療法人近森会 近森病院 救命救急センター 井原 則之
- PD4-4 日本保険薬局協会災害対策チーム設立に向けた構想  
日本保険薬局協会 運営科 緒方 孝行

## ■パネルディスカッション 5

1 日目 (2月22日) 15:40 ~ 17:10

第2会場 (みやこめっせ1階 第2展示場D)

叡智の結集：被災地での看護実践における叡智

座長 石井美恵子 (国際医療福祉大学大学院)  
高村 ゆ希 (東京医科歯科大学病院)

- PD5-1 北海道胆振東部地震での災害支援ナースの活動 –避難所における看護を考える–  
札幌心臓血管クリニック 看護部 鈴木 幹子
- PD5-2 DMAT の看護活動および看護ニーズ分析の調査研究から  
愛知医科大学病院 高度救命救急センター EICU 川谷 陽子
- PD5-3 日本赤十字社職員である災害看護専門看護師の5年間の実践活動–平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨災害、COVID-19パンデミック–  
熊本赤十字病院 看護部 手術センター 小林 賢吾
- PD5-4 被災地での看護実践における叡智 国際緊急援助隊医療チームの活動から  
埼玉医科大学総合医療センター 看護部 増田由美子
- PD5-5 被災地での看護実践の本質を探る  
国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 災害医療分野 石井美恵子

## ■パネルディスカッション 6

1 日目 (2月22日) 14:00 ~ 15:30

### 第4会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

#### 国外からの受援体制を考える

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院)  
豊國 義樹 (国立病院機構本部 厚生労働省 DMAT 事務局)

#### PD6-1 大規模災害発生時における国際医療チームの受援体制

厚生労働省 医政局地域医療計画課 赤星 昂己

#### PD6-2 国際的な緊急援助プロトコールとわが国の受援体制～支援・受援の非対称性

国際協力機構 (JICA) 国際緊急援助隊事務局 飯村 学

#### PD6-3 ARCH2 Project における国際緊急援助隊 (JDR) 医療チームと被災国 EMT との初の EMT Type2 共同運用演習の経験

独立行政法人国立病院機構災害医療センター 救命救急科/  
独立行政法人国際協力機構 国際緊急援助隊 医療チーム登録者 小崎 良平

#### PD6-4 海外医療チームとの連携強化に向けた多機関合同訓練の実践と展望

ピースウィンズ・ジャパン 空飛ぶ捜索医療団 "ARROWS" 稲葉 基高

## ■パネルディスカッション 7

1 日目 (2月22日) 15:40 ~ 17:10

### 第4会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

#### 災害時の感染対策と組織連携を考える

座長 高山 和郎 (東京大学医学部附属病院 薬剤部)  
千鳥佳也子 (国立病院機構本部厚生労働省 DMAT 事務局)

#### PD7-1 日本の災害医療と感染症対応

国立病院機構本部 DMAT 事務局 近藤 久禎

#### PD7-2 災害時の感染制御活動 日本環境感染学会の DICT (Disaster Infection Control Team) 活動について

防衛医科大学校 防衛医学研究センター広域感染症疫学・制御研究部門 加来 浩器

#### PD7-3 熊本地震時 ADRO での対応事例 地域本部運営側としての活動を通して

厚生連高岡病院 救急科 伊藤 宏保

#### PD7-4 災害時感染対策チーム: DICT を紹介します

東京医療保健大学大学院 感染制御領域 菅原えりさ

#### PD7-5 J-SPEED を活用した災害時感染症サーベイランス

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦

## ■パネルディスカッション 8

1 日目 (2月22日) 14:00 ~ 15:30

第 5 会場 (みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②)

叡智の結集：小児周産期リエゾン (委員会企画)

座長 伊藤 友弥 (あいち小児保健医療総合センター 小児救命救急センター)  
岬 美穂 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

- PD8-1 小児周産期領域訓練報告—高知県での政府訓練より—  
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 産科 渡邊 理史
- PD8-2 小児周産期医療領域報告—愛媛県での政府訓練より—  
愛媛県立中央病院 小児医療センター 山本 英一
- PD8-3 災害時小児周産期リエゾンの訓練を実りあるものにするために —災害時小児周産期リエゾンによる政府訓練企画支援報告—  
聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 新生児科 杉浦 弘
- PD8-4 小児周産期リエゾン訓練～DMAT 看護師としてのサポート経験から～  
独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 災害医療センター 長島 尚子
- PD8-5 神奈川県災害時小児周産期リエゾンの 2023 年度関東ブロック DMAT 訓練参加報告  
北里大学 医学部 産婦人科学「産科学」 服部 響子
- PD8-6 災害時小児周産期リエゾン技能維持研修と今後について  
国立病院機構本部 DMAT 事務局 上杉 泰隆

## ■パネルディスカッション 9

1 日目 (2月22日) 11:00 ~ 12:30

第 6 会場 (みやこめっせ B1階 第 1 展示場 A)

多数熱傷患者への対応

座長 清住 哲郎 (防衛医科大学校病院 救急部)

- PD9-1 多数熱傷患者の診療における現状調査 2023  
日本赤十字社医療センター 救命救急センター 諸江 雄太
- PD9-2 多数熱傷患者に対するスキンバンクのあり方  
杏林大学 医学部 救急医学 海田 賢彦
- PD9-3 多数熱傷患者発生に対応するための教育・啓発への取り組み  
大阪大学 救急医学 織田 順
- PD9-4 集団災害時多数発生広範囲熱傷治療における再生医療の課題  
鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター 上田 敬博

## ■パネルディスカッション 10

1 日目 (2月22日) 14:00 ~ 15:30

第7会場 (みやこめっせ B1階 第1展示場B)

叡智の結集: JRAT

座長 加藤 大策 (京都第一赤十字病院 リハビリテーション科)  
三上 靖夫 (京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学)

PD10-1 JRAT について

一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会/  
大阪医科薬科大学 医学部総合医学講座リハビリテーション教室 富岡 正雄

PD10-2 JRAT における理学療法士等の活動と災害リハビリテーション教育の現状

医療法人社団木星会 山鹿温泉リハビリテーション病院 総合リハビリテーション部/  
熊本県災害リハビリテーション推進協議会 (熊本 JRAT) 事務局 佐藤 亮

PD10-3 災害時の作業療法士の役割

社会医療法人北斗会 さわ病院 OTセンター 村上 恵子

PD10-4 災害時の言語聴覚士 (ST) の役割

日本歯科大学附属病院 言語聴覚士室 西脇 恵子

## ■パネルディスカッション 11

1 日目 (2月22日) 15:40 ~ 17:10

第7会場 (みやこめっせ B1階 第1展示場B)

叡智の結集: 在宅 (診療所・訪問看護等)

座長 小早川義貴 (DMAT 事務局)  
原田奈穂子 (岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科)

PD11-1 日本プライマリ・ケア連合学会が考える、急性期医療対応との連携への方略

日本プライマリ・ケア連合学会 災害医療システム委員会/  
日本赤十字社医療センター 救命救急センター・国内医療救護部 鷺坂 彰吾

PD11-2 DWAT が考える、急性期医療対応との連携の方略

社会福祉法人邑友会 特別養護老人ホームやまつつじ 南川 基治

PD11-3 災害時における在宅療養患者対応時の課題と解決策—日本在宅医療連合学会の立場より—

京都府立医科大学 大学院医学研究科 救急・災害医療システム学/  
医療法人双樹会 よしき往診クリニック 在宅医療部/  
一般社団法人 日本在宅医療連合学会 災害対策委員会 宮本 雄気

PD11-4 訪問看護師が考える、急性期医療対応との連携への方略

訪問看護ステーション あした 訪問看護 鎌野 倫加

## ■パネルディスカッション 12

1 日目 (2月22日) 17:20 ~ 18:50

### 第7会場 (みやこめっせ B1階 第1展示場 B)

#### 叡智の結集：病院避難

座長 森本真之助 (紀宝町立相野谷診療所)  
若井 聡智 (DMAT 事務局)

#### PD12-1 病院避難 総括

独立行政法人国立病院機構 本部 DMAT 事務局 若井 聡智

#### PD12-2 水没病院からの入院患者および職員避難ミッションで得られた教訓

直和会 平成立石病院 地域救急医療センター 大桃 丈知

#### PD12-3 病院避難を経験して

阿蘇立野病院 外科 上村 晋一

#### PD12-4 行政との調整に苦慮した病院避難 (令和元年東日本台風)

獨協医科大学 救急医学講座 和氣 晃司

#### PD12-5 秋田豪雨災害での秋田脳研 DMAT の病院支援活動

秋田県立循環器・脳脊髄センター 副病院長 佐々木正弘

#### PD12-6 病院避難の見積もりと回避～事前リストを用いたシミュレーションと実際の対応～

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

## ■パネルディスカッション 13

2 日目 (2月23日) 8:30 ~ 9:40

### 第2会場 (みやこめっせ 1階 第2展示場 D)

#### 保健医療福祉調整におけるボランティアとの協議

#### —珠洲市生活サポート部会—

座長 尾島 俊之 (浜松医科大学 健康社会医学講座)  
酒井 明子 (福井大学)

#### PD13-1 能登半島地震の現場から

福井大学 酒井 明子

#### PD13-2 災害発生後の急性期からの NPO 等との連携

浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之

#### PD13-3 珠洲市生活部会について

珠洲市健康増進センター 三上 豊子

#### PD13-4 社会福祉協議会活動

全国ボランティア・市民活動振興センター長 高橋 良太

## ■パネルディスカッション 14

2日目(2月23日) 10:10～11:40

第2会場(みやこめっせ1階第2展示場D)

### 実災害時の避難所支援における BHELP の活用

座長 是枝 大輔(日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部 副部長)  
田口裕紀子(札幌医科大学保健医療学部看護学科)

- PD14-1 「2時間後に避難者がきます！」～能登地震避難所立ち上げにおける BHELP の実践～  
ピースウィンズ・ジャパン 空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 稲葉 基高
- PD14-2 1人の老医師が「BHELP 標準コース」を受講して  
日本赤十字社八戸赤十字病院 医療社会事業部 小笠原英治
- PD14-3 令和2年7月豪雨災害における保健医療福祉支援活動に基づいた BHELP の意義・有用性の検討  
熊本赤十字病院 手術センター 小林 賢吾
- PD14-4 三重県紀南地域における BHELP を活用した避難所での多職種連携訓練の取り組みについて  
紀南病院組合立紀南病院 総務課 津呂橋 優
- PD14-5 BHELP の輪～災害時避難所支援の one team 化にむけて～  
医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院 リハビリテーション科 細川 浩

## ■パネルディスカッション 15

2日目(2月23日) 8:30～10:00

第4会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

### クライシスコミュニケーション

座長 阿南 英明(神奈川県庁/藤沢市民病院)  
富尾 淳(国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

- PD15-1 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション：国内外の動向、理論と原則  
株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ/  
京都大学大学院 医学研究科 健康情報学分野 蝦名 玲子
- PD15-2 災害において情報の非対称性を生じる要因  
帝京大学 医学部 救急医学講座 安心院康彦
- PD15-3 COVID-19 の経験から行政のクライシスコミュニケーションの課題を探る  
神奈川県庁/藤沢市民病院 阿南 英明
- PD15-4 マスコミ・報道の観点からクライシスコミュニケーションを考える～COVID-19 の経験から～  
NHK 報道局取材センター社会部 市毛 裕史
- PD15-5 政治の立場からクライシスコミュニケーションを考える  
衆議院 尾崎 正直



## ■パネルディスカッション 16

2日目(2月23日)10:10～11:40

### 第4会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

#### 災害時の整形外科医療の結集

～JOA 災害対応委員会と JCOADiT と JRAT の学会連携を考える～

座長 生越 智文(鳥取大学医学部附属病院 救急科 講師)  
河村 英徳(カワムラ整形外科)

#### PD16-1 JOA 災害対応委員会の活動と災害 Web 訓練について

鳥取大学医学部附属病院 救急科 生越 智文

#### PD16-2 大規模災害時の整形外科医の関わり方～通常のトリアージと整形外科搬送トリアージに関して～

手稲漢仁会病院 整形外科/日本整形外科学会 災害対応委員会 入船 秀仁

#### PD16-3 JCOA 災害医療チーム検討委員会の取り組み

医療法人社団藤愛会はまへ整形外科 整形外科 濱邊 卓也

#### PD16-4 JCOA(日本臨床整形外科学会)の地域 BCP(事業継続計画)を見据えた危機管理

カワムラ整形外科 院長 河村 英徳

#### PD16-5 JRAT による運動器障害への支援

一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会/  
大阪医科薬科大学 医学部総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄

## ■パネルディスカッション 17

2日目(2月23日)14:20～15:50

### 第4会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

#### 災害時における適正な医薬品供給に向けて～災害時の必須医薬品リストを考える～

座長 江川 孝(福岡大学 薬学部 救急・災害医療薬学研究室)  
山田 卓郎(公益社団法人日本薬剤師会 常務理事)

#### PD17-1 災害時における糖尿病治療薬

佐賀大学 医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西 慶三

#### PD17-2 DPAT 携行医薬品リストについて

茨城県立こころの医療センター 薬剤科 辛島 昌秀

#### PD17-3 日赤救護班の携行医薬品リスト

日本赤十字社医療センター 薬剤部・国際医療救援部/日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害救援技術部門/  
東京薬科大学大学院 薬学研究科 小林 映子

#### PD17-4 JMAT の携行する医薬品と医療器材リスト作成のコンセプトについて

日本医師会 総合政策研究機構/東北大学 災害科学国際研究所/東京曳舟病院 救急総合診療科 秋富 慎司

#### PD17-5 JADM の必須医薬品リスト・災害拠点病院の備蓄医薬品リストについての考察

兵庫医科大学 医学部危機管理医学講座 渡邊 暁洋

## ■パネルディスカッション 18

2日目(2月23日) 15:50～17:10

### 第4会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

#### 検死・検案

座長 七戸 康夫(国立病院機構北海道医療センター 救命救急部長)

#### PD18-1 海外における大規模災害時の死体検案と身元確認(DVI)の現状

鳥取大学 医学部 法医学分野 飯野 守男

#### PD18-2 今後の災害に備えた歯科所見による身元確認システムの展開

東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 法医学分野 斉藤 久子

#### PD18-3 検死および遺体保存システムの必要性について(仮)

東北大学 災害科学国際研究所/東京大学 大学院医学系研究科法医学教室/日本医師会 総合政策研究機構/  
東京曳舟病院 救急総合診療科 秋富 慎司

## ■パネルディスカッション 19

2日目(2月23日) 8:30～10:00

### 第5会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②)

#### 叡智の結集:災害薬事

座長 柴田 隼人(愛知医科大学 災害医療研究センター 助教)  
渡邊 暁洋(兵庫医科大学 危機管理医学講座 助教)

#### PD19-1 災害薬事研修コース PhDLSの現状と課題

日本医科大学千葉北総病院 薬剤部/福岡大学薬学部 救急・災害医療薬学研究室 勝田 恵

#### PD19-2 災害研修におけるスプレッドシートを活用したクロノロ共有システムの実証実験

学生 福岡大学 薬学部 薬学科 救急・災害医療薬学研究室 吉田 奈央

#### PD19-3 日本DMATと日本医薬品卸売業連合会との連携による災害時の医薬品供給

藤田医科大学 医学部 地域医療産学連携共同研究講座/新潟大学 医学部 和泉 邦彦

#### PD19-4 令和5年九州北部豪雨災害における災害薬事コーディネーターの活動

福岡大学 薬学部 救急・災害医療薬学研究室 江川 孝

#### PD19-5 FIP(国際薬剤師薬学連合会)「人道支援に関わる薬剤師のコンピテンシーフレームワーク」から日本の薬剤師の災害教育・人材育成を考える

日本赤十字社医療センター 薬剤部・国際医療救援部 小林 映子

## ■パネルディスカッション 20

2日目(2月23日) 10:10～11:10

### 第5会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②)

#### トルコ大地震(JADM 国際委員会企画)

座長 井上 潤一(日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター 副院長)  
糟谷 良久(独立行政法人国際協力機構(JICA) 国際緊急援助隊事務局)

#### PD20-1 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの活動報告 —野外病院における地元医療者との協働の重要性—

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 大場 次郎

PD20-2 空飛ぶ捜索医療団 "ARROWS" による 2023 トルコ・シリア地震活動報告 ～急性期の医療・救助・物資支援活動について～

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 坂田 大三

PD20-3 NPO 法人 TMAT によるトルコ・シリア地震での現地活動

NPO 法人 TMAT 合田 祥悟

PD20-4 トルコ地震における国際 EMT 受援調整について  
Acceptance and Coordination of International EMT during the Turkey Great Earthquake

Republic of Turkey Ministry of Health General Directorate of EU and Foreign Affairs,  
Head of Department for Relations with International Organizations Irmak Yusufl

## ■パネルディスカッション 21

2 日目 (2 月 23 日) 14:20 ~ 15:30

第 5 会場 (みやこめっせ B1 階 日図デザイン博物館②)

来るべき大災害への備え、クラッシュ症候群を考える：多職種連携

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター 副院長)  
中山 伸一 (兵庫県災害医療センター 名誉院長・顧問)

PD21-1 クラッシュ症候群特別委員会の設置の背景

順天堂大学医学部 救急・災害医学 大場 次郎

PD21-2 大規模災害時の圧挫症候群 (クラッシュ症候群) における臨床工学技士の役割と課題

川崎市立多摩病院 (指定管理者 学校法人聖マリアンナ医科大学) クリニカルエンジニア部 矢田 哲康

PD21-3 2016 年熊本地震における倒壊木造建物・閉じ込め現場での挟圧解除：事例と教訓

上武大学 ビジネス情報学部 スポーツ健康マネジメント学科 加古 嘉信

PD21-4 データ解析と報告からクラッシュ症候群を考察する

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科/  
川崎市立多摩病院 クリニカルエンジニア部/上武大学 ビジネス情報学部 スポーツ健康マネジメント学科/  
国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 保健医療学専攻 災害医療分野 下澤新太郎

PD21-5 国際緊急援助隊救助チームのクラッシュ症候群に対する教育

日本医科大学多摩永山病院 救命救急科/日本医科大学 救急医学教室/  
国際緊急援助隊救助チーム 医療班 阪本 太吾

## ■パネルディスカッション 22

2 日目 (2 月 23 日) 15:40 ~ 16:40

第 5 会場 (みやこめっせ B1 階 日図デザイン博物館②)

多職種連携の叡智 災害対応時の連携の実際

座長 石井美恵子 (国際医療福祉大学大学院)  
山下 和範 (長崎大学病院災害医療支援室 准教授)

PD22-1 NICU 避難における多職種連携

熊本市民病院 総合周産期母子医療センター 新生児内科 猪俣 慶

PD22-2 ブラックアウト時の多職種連携

札幌医科大学附属病院 臨床工学部 岸本万寿実

- PD22-3 多職種で構築する病院防災システム  
福岡徳洲会病院 救急科 鈴木 裕之
- PD22-4 大雨災害時の多職種連携  
JCHO 人吉医療センター 看護部 内科病棟 尾方 千恵
- PD22-5 自然災害による病院停電時の人工呼吸患者、補助循環装置装着患者への対応：多職種連携の観点から  
淀川キリスト教病院 麻酔科/国立研究開発法人 国立循環器病研究センター病院 集中治療科 佐藤 仁信

## ■パネルディスカッション 23

2日目(2月23日) 10:10～11:40

第6会場(みやこめっせB1階 第1展示場A)

大規模災害時のドクターヘリ運用 その課題と解決に向けて①

座長 小谷 聡司(DMAT事務局)  
高山 隼人(長崎大学病院)

- PD23-1 「大規模災害時のドクターヘリ運用体制構築に関わる指針」の改定は急務である。  
国立病院機構高崎総合医療センター 救急科 町田 浩志
- PD23-2 災害対応におけるドクターヘリ運用体制の考察  
中日本航空株式会社 経営管理部 兵藤 敬
- PD23-3 大規模災害時に被災地より300キロメートル圏内のドクターヘリ全機参集は必要か  
前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 中村 光伸
- PD23-4 大規模災害時のドクターヘリ運用 その課題と解決に向けて—九州で行っている先進事例—  
久留米大学病院 高度救命救急センター 山下 典雄
- PD23-5 理想的なドクターヘリ本部設置場所についての検討  
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 平林 篤志
- PD23-6 大規模災害におけるドクターヘリ運用体制時の確実な情報共有と人材不足解消のための要請・応需手順効率化改善の検討  
前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 藤塚 健次
- PD23-7 大規模災害時のドクターヘリを中心とした空路医療搬送調整に関する学習と訓練機会の創出  
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター/日本医科大学 救急医学教室/  
日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 本村 友一
- PD23-8 災害時の空路搬送におけるロジダイジ  
日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 山内 延貴

## ■パネルディスカッション 24

2 日目 (2 月 23 日) 15:20 ~ 16:50

### 第 6 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 A)

#### 外国人対応

座 長 高階謙一郎 (京都第一赤十字病院院長特任補佐 救命救急センター・基幹災害医療センター長)  
森野 一真 (山形県立河北病院 院長)  
指定発言 稲野 秀孝 (日本医師会外国人医療対策委員会委員長兼栃木県医師会長)

#### PD24-1 東京の外国人災害医療の整備に向けて

日本医師会 外国人医療委員会 市川きくの

#### PD24-2 外国人患者受入れ体制整備に向けた厚生労働省の取組について

厚生労働省 医政局総務課医療国際展開推進室 中西 浩之

#### PD24-3 災害発生時の外国人への対応問題点

特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター／医療法人社団小林国際クリニック 理事長 小林 米幸

#### PD24-4 災害時にも「誰も取り残さない」医療を目指して ～J-MIND(日本災害医療通訳ネットワーク)の挑戦～

J-MIND(日本災害医療通訳ネットワーク) 代表 益田 充

#### PD24-5 当院における災害時外国人対応の体制整備にむけた取り組み

りんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センター 救命診療科 根本 大資

## ■パネルディスカッション 25

2 日目 (2 月 23 日) 8:30 ~ 10:00

### 第 7 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 B)

#### 叡智の結集：警察・消防・海上保安庁・自衛隊

座長 清住 哲郎 (防衛医科大学学校病院救急部 教授)  
水口 靖規 (陸上自衛隊衛生学校 学校長)

#### PD25-1 消防の対応、地元消防が期待すること (阪神・淡路大震災の被災経験を踏まえ)

神戸市消防局 警防部救急課 城月 徹

#### PD25-2 大規模災害等における陸上自衛隊衛生の対応

陸上自衛隊 陸上幕僚監部衛生部 鈴木 洋

#### PD25-3 海上自衛隊の対応

防衛省 海上幕僚監部 首席衛生官付 衛生企画室 江戸川誠司

#### PD25-4 大規模災害対応における航空自衛隊の役割

防衛省 航空自衛隊 自衛隊入間病院 山口 大介

#### PD25-5 災害時における海上保安庁の対応について

海上保安庁 警備救難部 救難課 佐々木崇夫

#### PD25-6 警察の災害対応

警察庁 警備局警備運用部警備第三課 黒川 清彦

## ■パネルディスカッション 26

2日目(2月23日) 10:10～11:40

第7会場(みやこめっせ B1階 第1展示場 B)

### 積雪寒冷期の災害対応と避難支援

座長 植田 信策(石巻赤十字病院/災害医療研修センター 副院長)  
曾篠 恭裕(日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害救援技術部門長)

#### PD26-1 厳冬期災害における避難所環境の整備

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター 根本 昌宏

#### PD26-2 東日本大震災における HOT 患者の対応

石巻赤十字病院 呼吸器内科 小林 誠一

#### PD26-3 北海道根室市での津波災害を想定した人流データの活用による避難状況のリアルタイム把握の試み

株式会社 Agoop 代表取締役 兼 CEO/順天堂大学 大学院医学研究科データサイエンス 客員教授/  
ソフトバンク株式会社ビッグデータ戦略室 室長 柴山 和久

#### PD26-4 厳冬期における紛争地の人道支援～ウクライナの現状

赤十字国際委員会 駐日代表部 榛澤 祥子

#### PD26-5 積雪地域に暮らす住民に対する冬の被災への備えに関する調査から

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 技術部門 吉川 靖之

## ■パネルディスカッション 27

2日目(2月23日) 14:20～15:50

第7会場(みやこめっせ B1階 第1展示場 B)

### 南海トラフ地震

座長 阿南 英明(神奈川県庁/藤沢市民病院 理事/副院長)

#### PD27-1 南海トラフ地震を想定した DMAT 活動の定量的分析

神奈川県庁 健康医療局/藤沢市民病院 救急科 阿南 英明

#### PD27-2 JMAT による支援と受援

カワムラ整形外科 院長 河村 英徳

#### PD27-3 南海トラフ地震における AMAT の活動

東京都病院協会 会長 猪口 正孝

#### PD27-4 南海トラフ地震における外部支援には限界がある

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 布施 明

## ■パネルディスカッション 28

2日目(2月23日)15:50～16:50

第7会場(みやこめっせB1階第1展示場B)

叡智の結集：災害時における難病・希少疾患対策

座長 竹上 徹郎(京都第一赤十字病院)

土井 智章(富山大学学術研究部医学系 医学部 救急医学講座 教授)

PD28-1 災害時における透析医療の課題

富山大学学術研究部医学系 医学部 救急医学講座 土井 智章

PD28-2 災害時の透析医療確保における広域関東圏連携会議における机上訓練について

神奈川県透析危機対策協議会 矢尾 淳

PD28-3 災害時の血友病診療

兵庫医科大学 血液内科 日笠 聡

PD28-4 医療機関が行政とともに取り組む災害対策—医療的ケア児受け入れ可能福祉避難所設立運営を目指して—

鳥取大学 医学部 脳神経小児科 中村 裕子

PD28-5 台風15号の水害において、医療的ケア児は災害弱者だった

静岡済生会総合病院 小児科 塩田 勉

PD28-6 全国都道府県別在宅人工呼吸器装着者調査2023

国立病院機構柳井医療センター 脳神経内科 宮地 隆史

## ■パネルディスカッション 29

2日目(2月23日)16:30～18:00

第8会場(みやこめっせB1階特別展示場A)

BCP研修を考える(BCP研修委員会)

座長 堀内 義仁(国際医療福祉大学熱海病院)

本間 正人(鳥取大学医学部救急災害医学分野)

PD29-1 BCP研修委員会について

国際医療福祉大学熱海病院 皮膚科 堀内 義仁

PD29-2 全国におけるBCP研修の実態調査結果報告

国際医療福祉大学熱海病院 皮膚科 堀内 義仁

PD29-3 厚労省BCP策定研修事業における研修について

国際医療福祉大学熱海病院 皮膚科 堀内 義仁

PD29-4 病院での業務継続を念頭においたBCPの提案と研修

国立病院機構本部 DMAT事務局 三村 誠二

PD29-5 結果事象から組み立てる業務継続に係る準備と訓練の企画運営のコツを伝える研修も必要である。

東京都立病院機構 機構本部・広尾病院 減災対策支援センター 中島 康

PD29-6 都道府県BCP策定研修----広島県の経験から

鳥取大学 医学部 救急・災害医学分野 本間 正人

## ■パネルディスカッション 30

3 日目 (2 月 24 日) 10:10 ~ 11:10

### 第 4 会場 (みやこめっせ B1 階 日図デザイン博物館①)

#### 災害時の血液供給

座長 島 幸宏 (有田市立病院)

諸江 雄太 (日本赤十字社医療センター 救命救急センター 副部长)

#### PD30-1 災害時における血液輸送について

血液事業本部 経営企画部 供給管理課長 杉山 朋邦

#### PD30-2 凍結保存が不要で災害時においても即時投与可能な粉体乾燥血漿製剤

一般社団法人 日本血液製剤機構 研究開発本部 中央研究所 蛋白質化学研究室 野澤 泰代

#### PD30-3 ドローンによる血液搬送

地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立墨東病院 輸血科 藤田 浩

#### PD30-4 八重山諸島にける大量輸血必要時の対応・・・災害時の血液供給の参考として

沖縄県立八重山病院 救急科 竹島 茂人

## ■パネルディスカッション 31

3 日目 (2 月 24 日) 12:40 ~ 14:10

### 第 4 会場 (みやこめっせ B1 階 日図デザイン博物館①)

#### 今、おさえておきたいツボ : 災害時の鍼灸・マッサージ支援

座長 石井 史子 (NPO 救命おかやま)

日比 泰広 (特定非営利活動法人鍼灸地域支援ネット 理事長)

指定質問者 高山 真 (東北大学大学院医学系研究科 漢方・統合医療学共同研究講座)

#### PD31-1 日本の災害支援における鍼灸・マッサージ活動に係る法制度の整理

明治国際医療大学 鍼灸学部 鍼灸学科 / (公財) 未来工学研究所 / 日本災害鍼灸マッサージ連絡協議会 (JLCDAM) 小野 直哉

#### PD31-2 鍼灸マッサージによる災害支援の実際

東京都立大学 人文科学研究科人間科学専攻臨床心理学分野 / 災害鍼灸マッサージプロジェクト 代表 三輪 正敬

#### PD31-3 医療支援組織と鍼灸マッサージ支援組織の連携戦略 (仮)

国立病院機構本部 DMAT 事務局 小早川義貴

#### PD31-4 災害後のヘルス・サステナビリティに対する鍼灸・マッサージへの期待

岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究所 / 岡山大学 医学部保健科学看護学専攻基礎看護学 原田奈穂子

## ■パネルディスカッション 32

3 日目 (2 月 24 日) 14:20 ~ 15:50

### 第 4 会場 (みやこめっせ B1 階 日図デザイン博物館①)

#### 災害時における遺族・遺体対応の諸問題

座長 吉永 和正 (医療法人協和会 副理事長)

村上 典子 (神戸赤十字病院心療内科部長)

#### PD32-1 災害時における遺族・遺体対応の諸問題—法医学の立場から—

国際医療福祉大学 医学部 法医学 本村あゆみ



- PD32-2 身元確認作業に従事する歯科医師とご遺族との関わり ―エンバミング効果も視野に入れた災害対応―  
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 法歯学分野 齊藤 久子
- PD32-3 DMORT としての実働経験  
京都第一赤十字病院 看護部 河野 智子
- PD32-4 遺体・遺族に対応する救援者のメンタルヘルス～過去の災害に学ぶ～  
神戸赤十字病院 心療内科 村上 典子

## ■パネルディスカッション 33

3 日目 (2 月 24 日) 8:30 ～ 10:00

第 5 会場 (みやこめっせ B1 階 日図デザイン博物館②)

叡智の結集：四師会 (医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会)

座長 石原 哲 (東京曳舟病院 名誉院長 救急科)  
松井 道宣 (京都九条病院 京都府医師会)

- PD33-1 災害への備えにおける連携強化への日本医師会の取組みについて  
公益社団法人 日本医師会 常任理事 細川 秀一
- PD33-2 歯科保健医療における災害時の健康危機管理体制構築  
東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 救急災害医学分野 中久木成一
- PD33-3 日本薬剤師会の取り組みについて  
公益社団法人 日本薬剤師会 常務理事 山田 卓郎
- PD33-4 災害支援ナースの活動と多職種連携に向けた課題  
日本看護協会 中野夕香里
- PD33-5 協定に基づく JMAT 研修における 4 師会連携の意義  
兵庫県医師会 救急災害医療委員会 平林 弘久
- PD33-6 救護所活動には 4 師会の結集が不可欠～静岡県志太榛原地域の救護所対策の現状と課題～  
まつおか内科循環器クリニック 松岡 良太
- PD33-7 8 団体による美濃加茂市災害時の応急医療活動に関する協定と救護所設置訓練  
社会医療法人厚生会 中部国際医療センター 救急部門/一般社団法人 加茂医師会 会長 山田実貴人

## ■パネルディスカッション 34

3 日目 (2 月 24 日) 8:30 ～ 10:00

第 6 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 A)

国民保護における災害医療の役割

座長 吉原 秀明 (鹿児島市立病院 救急科 部長 救命救急センター長)  
若井 聡智 (独立行政法人国立病院機構 本部 DMAT 事務局)

- PD34-1 国民保護―モルドバ共和国等での経験から  
広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦
- PD34-2 国民保護共同訓練における要配慮者の避難の検討状況  
内閣官房 内閣官房副長官補 (事態対処・危機管理担当) 付 草瀬 大

- PD34-3 沖縄県の国民保護における住民避難等訓練について ～地元の医療者として～  
沖繩赤十字病院 救急集中治療部 佐々木秀章
- PD34-4 武力攻撃予測事態訓練における離島からの要配慮者避難に対する災害医療支援  
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 災害医療課 矢嶋 祐一

■パネルディスカッション 35

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ～ 15:50

第 6 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 A)

市民社会とトリアージ ―今後の人文社会学的議論に向けた論点整理―

座長 富尾 淳 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

- PD35-1 災害医療と ELSI(法的・倫理的・社会的)研究  
東京大学 法学政治学研究所/国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 島田 裕平
- PD35-2 トリアージの法的責任に関する諸論点の整理  
森・濱田松本法律事務所 弁護士/スタンフォード大学 ロースクール 南谷 健太
- PD35-3 災害時の資源配分を語る言葉:「最大多数の最善」をより豊かにするために  
東京大学 大学院医学系研究科 三羽恵梨子
- PD35-4 救護者の法的保護に関する学際的提言  
特別発言 帝京大学 医学部 救急医学講座/  
日本賠償科学会・日本救急医学会 救護者保護に関わる合同検討委員会 森村 尚登

■パネルディスカッション 36

3 日目 (2 月 24 日) 8:30 ～ 9:30

第 7 会場 (みやこめっせ B1 階 第 1 展示場 B)

大規模災害時のドクターヘリ運用 その課題と解決に向けて②

座長 藤塚 健次 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 部長)  
本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 講師)

- PD36-1 ドクヘリ運用混乱 2023 東北地方 DMAT 参集訓練に参加して  
福島県立医科大学附属病院 ふたば救急総合医療支援センター 島田 二郎
- PD36-2 東北 DMAT 実動訓練から学んだ青森県の大規模災害時における効率的なドクターヘリ運用について  
青森県立中央病院 救命救急センター 齋藤 兄治
- PD36-3 中部ブロックドクターヘリ連絡会議の設置について  
聖隷三方原病院 高度救命救急センター 早川 達也
- PD36-4 甚大災害時に病院ヘリポートは使用できるのか?～兵庫県内災害拠点病院の災害対策マニュアルにおけるヘリポートについての記載状況～  
兵庫県立加古川医療センター 救急科 宮崎 大
- PD36-5 災害時におけるドクターヘリ本部統括業務の訓練の必要性  
公立豊岡病院 但馬救命救急センター 救急集中治療科 永嶋 太

PD36-6 大規模災害時における超急性期のドクターヘリ運用  
～令和5年度大規模地震時医療活動訓練 宮崎県空路医療搬送調整における検証～  
福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター／日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 久城 正紀

PD36-7 災害時のドクターヘリ運用～島嶼エリアにおける初動体制に焦点を当てて～  
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター 米盛 輝武

## ■パネルディスカッション 37

3日目(2月24日) 12:40～14:10

第7会場(みやこめっせ B1階 第1展示場 B)

水害対応

座長 奥山 学(秋田大学大学院救急集中治療医学講座 准教授)  
野田英一郎(国立病院機構九州医療センター 広域災害・救命救急センター長)

PD37-1 風水害による浸水区域に位置する災害拠点病院のBCP策定状況調査  
秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター／国際医療福祉大学大学院 災害医療分野／  
国際医療福祉大学大学院 災害保健医療研究センター／秋田大学医学部附属病院 救急集中治療医学講座 山平 大介

PD37-2 水害被害を受けた病院での院内DMAT活動について～病棟機能の維持か転院搬送か、  
院内スタッフの動きは～  
社会医療法人明和会 中通りリハビリテーション病院 リハビリテーション部医療相談係 伊藤 雅充

PD37-3 2023年7月九州北部豪雨災害における福岡県DMATの活動  
福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター 久城 正紀

PD37-4 水害想定訓練計画時の被害想定作成の経験  
日赤名古屋第二病院 救急科 稲田 真治

PD37-5 広域的な長期浸水(湛水)地域における高齢者介護施設BCP  
愛知医科大学 災害医療研究センター 小澤 和弘

## ■パネルディスカッション 38

3日目(2月24日) 10:00～11:30

第10会場(みやこめっせ B1階 大会議室)

避難所・避難生活学会2

新たな国土強靱化基本計画－避難生活における災害関連死の最大限の防止  
座長 植田 信策(石巻赤十字病院 災害医療研修センター 副院長)  
北川 慶子(佐賀大学・名誉教授(佐賀大学理工学部客員研究員))

PD38-1 新たな国土強靱化基本計画に位置付けられた災害関連死の防止について  
内閣官房 国土強靱化推進室 堂蘭 俊多

PD38-2 イタリアから学ぶ災害関連死を防ぐ避難所環境のあり方  
避難所・避難生活学会 水谷 嘉浩

PD38-3 避難所における健康管理と、地域の医療との連携  
DMAT事務局 三村 誠二

PD38-4 なぜ、日本の避難所環境は抜本的に変わらないのか  
国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 災害医療分野 石井美恵子

PD38-5 赤十字における新たなインフラ・デジタル技術の創出を通じた国土強靱化への貢献

日本赤十字看護大学附属災害看護研究所 曾篠 恭裕

■パネルディスカッション 39

3日目(2月24日) 13:40～14:40

第10会場(みやこめっせ B1階 大会議室)

避難所・避難生活学会 4 行政職の災害対応—避難所生活者と在宅避難者の安全確保

座長 石井美恵子(国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 教授)  
山村 修(福井大学医学部 地域医療推進講座 教授)

PD39-1 個別避難計画は地域づくり

福井大学名誉教授 酒井 明子

PD39-2 町民主体の災害対応

福井県永平寺町防災安全課 源野 陽一

PD39-3 行政職の災害対応 - 避難所生活者と在宅避難者の安全確保

健康増進センター所長 三上 豊子

PD39-4 異分野融合による保健師への防災教育

- Virtual Reality を用いた被災の疑似体験と健康危機管理 -

福井大学学術研究院医学系部門看護学領域 教授 佐藤 大介

■パネルディスカッション 40

3日目(2月24日) 14:50～15:50

第10会場(みやこめっせ B1階 大会議室)

避難所・避難生活学会 5 命を救い・繋ぐ法整備～避難生活と災害復興法学のすすめ

座長 鶴岡 卓(谷向病院 健診センター長 兵庫県災害医療センター 顧問)  
岡本 正(銀座パートナーズ法律事務所代表弁護士・岩手大学地域防災研究センター客員教授・人と防災未来センター特別研究調査員)

PD40-1 災害救助法に関する柔軟運用と災害復興法学教育による人材育成

銀座パートナーズ法律事務所/岩手大学地域防災研究センター 岡本 正

PD40-2 危機時代の避難所・避難生活支援に資する看護・ケア人材の育成

神戸市看護大学 災害看護・国際看護学 神原 咲子

PD40-3 災害救助法適用の課題と被災者支援報道

静岡新聞社社会部/人と防災未来センター特別研究調査員 武田愛一郎

■学生セッション 1

3日目(2月24日) 16:00～17:00

第4会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館①)

DMAS 企画 第11回学生フォーラム

話そう! 聴こう! 学生×専門家【座談会】

座長 小早川義貴(国立病院機構本部 DMAT 事務局福島復興支援室)  
永野 七海(日本 DMAS 企画部・熊本大学医学部医学科3年)

座談会 -1

神奈川県庁理事(医療危機対策担当/藤沢市民病院副院長) 阿南 英明

座談会 -2 東北大学医学部・医学研究科 総合医療学分野 教授 石井 正

座談会 -3 厚生労働省医政局地域医療計画課 災害等緊急時医療・周産期医療等対策室  
災害時医師等派遣調整専門官／災害医療支援専門官 赤星 昂己

座談会 -4 Peace Winds Japan 空飛ぶ探索医療団 ARROWS プロジェクトリーダー 稲葉 基高

座談会 -5 福島県立医学大学病院 手術部看護師学生会支援委員、DMAT 隊員 佐藤めぐみ

## ■学生セッション2

3日目(2月24日) 14:20～15:50

第5会場(みやこめっせ B1階 日図デザイン博物館②)

新世代(学生)が考える災害医療! 未来への発信

座長 石津 舞桜(高知県立大学看護学部看護学科)  
橋本 佳奈(岐阜聖徳学園大学)

学生セッション2-1 日本災害医学会学生会(DMAS)の10年の変遷を振り返り、今後のあるべき姿を考える

旭川医科大学 医学部 医学科 山田 温心

学生セッション2-2 学生が災害医療に関する企画を行う意義～DMASで開催された様々な企画から考える～

高知県立大学 看護学部 看護科 一ノ瀬 航

学生セッション2-3 東北DMASが災害時のロジスティクス支援を目指して行っている取り組み～ロジスティクス勉強会・研修会、災害訓練参加～

学生 岩手医科大学 医学部 野口 昌彦

学生セッション2-4 10年の歩みの中で先生方との顔の見える関係性の構築が日本災害医学会学生会(DMAS)の躍進に与えた影響とは

旭川医科大学 医学部 医学科 長島 啓悟

学生セッション2-5 学生時代から災害医学を学ぶ意義は何か:日本災害医学会学生会(DMAS)OBOGの活躍に影響したDMAS時代の原点を探り、DMAS学生のこれからの展望

つくば国際大学 医療保健学部 看護学科 栗山 大雅

## ■閉会の辞

3日目(2月24日) 15:50～16:00

第1会場(みやこめっせ 3階 第3展示場A)

挨拶 高階謙一郎(京都第一赤十字病院院長特任補佐 救命救急センター・基幹災害医療センター長)  
北川 喜己(名古屋掖済会病院救命救急センター)